

授業科目

聴覚障害III演習

担当教員名 桑原 桂、吉岡 豊	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	○	◎

授業の概要

言語聴覚士として必要な聴覚障害関係の機器測定や評価・コミュニケーション手段について習得する。

授業の目的

聴覚機能検査の結果をもとに補聴器のフィッティングが出来る。

学習目標

1. 補聴器に関する専門用語や特性表を説明できる。
2. 補聴器の調整器についてその特性を同定する。
3. 聴覚機能検査の結果をもとに補聴器装用耳を考える。
4. 聴力の型に合わせて補聴器を調整できる。
5. 耳型採取について理解する。
6. 補聴器装用効果について説明できる。
7. 補聴器障害について理解する。
8. 人工内耳の構造とマッピングについて説明できる。
9. 視覚聴覚二重障害児・者の特徴と援助方法について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	補聴器に関する用語等を理解し、特性表を読み取る。	講義と演習	吉岡 豊
2	補聴器の調整器と出力変化について理解する。	講義と演習	吉岡 豊
3	補聴器のボリューム、音質調整、出力制限、イヤホン、ダンパーを変えて測定する。	講義と演習	吉岡 豊
4	聴覚機能検査結果から補聴器装用と特性を決定する（乳幼児を含む）。	講義と演習	吉岡 豊
5	聴力の型に合わせて補聴器の出力を調整する。	講義と演習	吉岡 豊
6	耳型採取の実際。	講義と演習	吉岡 豊
7	補聴器装用効果の測定について説明できる（乳幼児を含む）。	講義と演習	吉岡 豊
8	補聴器障害について理解する	講義と演習	吉岡 豊
8	視覚聴覚二重障害児・者の特徴	講義と演習	吉岡 豊
10	視覚聴覚二重障害児・者への援助方法	講義と演習	吉岡 豊
11	人工内耳の構造と機能を理解する。	講義	桑原 桂、コクレア社
12	人工内耳の適応基準と装用効果。	講義	桑原 桂、コクレア社
13	人工内耳のマッピング。	講義	桑原 桂、コクレア社
14	人工内耳装用児の言語発達 1	講義と演習	桑原 桂
15	人工内耳装用児の言語発達 2	講義と演習	桑原 桂

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第3版 補聴器フィッティングの考え方	小寺一興	診断と治療社	2010年	3,200円+税	2年次聴覚障害IIIで購入済み
	聴覚検査の実際 改訂3版	日本聴覚医学会	診断と治療	2009	3,400円	2年次聴覚障害I演

			社	年	+税	習で購入済み
参考書	アドバンスシリーズ・コミュニケーション障害の臨床7 聴覚障害	日本聴能言語士協会 講習会実行委員会	共同医書出版社		4,000円 +税	ISBN4-7639-3027-3
その他の資料	必要に応じてプリント配布					

評価方法

演習態度およびレポートにより評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

吉岡

オフィスアワー：毎週水曜9:00～10:00

連絡先：yoshioka@nuhw.ac.jp

桑原

オフィスアワー：金曜日3限

連絡先：kuwahara@nuhw.ac.jp 025-257-4430